科目名	保健体育Ⅴ（Health & Physical EducationⅤ）						
学　年	学　科(コース)	単　位　数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数
第5学年	機械工学科	履修	1単位	必修	実技	前期	30時間
担　当　教　員	【常勤】 准教授　伊藤　耕作						

学　習　到　達　目　標

科目の到達目標レベル	(1)各グループごとに活動の準備段階から計画を立て、教員の支援を部分的に受けながら、練習、試合運営へと発展させることができる。 (2)グループの中での自分の役割を自覚でき、グループ活動に主体的に貢献することができる。 (3)活動中、自分や仲間の安全に留意して行動することができる。

到達目標（評価項目）	優れた到達レベルの目安	良好な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安
到達目標①	各グループごとに活動の準備段階から計画を立て、練習、試合運営へと主体的に発展させることができる。	各グループごとに活動の準備段階から計画を立て、教員の支援を部分的に受けながら、練習、試合運営へと発展させることができる。	各グループごとに活動の準備段階から計画を立て、教員の支援を受けながら、練習、試合運営へと発展させることができる。	各グループごとに活動の準備段階から計画を立てることができず、練習、試合へと発展させることができない。
到達目標②	グループの中での自分の役割を自覚でき、グループ活動をリードすることができる。	グループの中での自分の役割を自覚でき、グループ活動に主体的に貢献することができる。	グループの中での自分の役割を自覚でき、グループ活動に貢献することができる。	グループの中での自分の役割を自覚できず、グループ活動に貢献することができない。
到達目標③	活動中、グループ全体の安全に留意して行動することができる。	活動中、自分や仲間の安全に留意して行動することができる。	活動中、自分の安全に留意して行動することができる。	活動中、安全に留意して行動することができない。

学習・教育到達目標	(H)	JABEE基準1（2）	

達　成　度　評　価　（%）

評価方法 / 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合								100	100
知識の基本的な理解【知識・記憶、理解レベル】									
思考・推論・創造への適用力【適用、分析レベル】									
汎用的技能【コミュニケーションスキル】								○	
態度・志向性(人間力)【主体性、チームワーク、リーダーシップ】								◎	
総合的な学習経験と創造的思考力【　】									

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	
教科書	
補助教材等	必要に応じて資料を配布する

学習上の留意点
1. 授業への参加・取り組み姿勢(80%)と運動技術(20%)により評価する。 2. 欠席、遅刻、見学は減点する。体操服を忘れたら見学扱いとする。 3. クラスの男女比、施設、天候などにより授業内容が変更することもある。 4. 健康管理に留意して授業に参加すること。

担当教員からのメッセージ
5年生の体育は種目選択制を導入します。毎時の授業ではグループワークを基本とし、下記に示した種目を行います。練習や試合運営など必要に応じてアイデアを提供しますが、みなさんの自主と自立を重んじる方針です。前期のみの授業ですが、最後の体育を大いに楽しんで下さい。

授　業　の　明　細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 （予習・復習）
1	1. オリエンテーション	今年度の授業概要を把握し、到達目標を理解できる。	
2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	2. 種目選択制 選択できる種目は下記の通りである。 ・サッカー（10名以上） ・ソフトボール（18名以上） ・バスケットボール（10名以上） ・バレーボール（8名以上） ・バドミントン（4名以上） ・テニス（4名以上） ・卓球（4名以上） 上記の種目を実施するには、種目ごとに設定している指定人数を満たすことが必要である（カッコ内の人数）。	（1）各グループごとに活動の準備段階から計画を立て、教員の支援を部分的に受けながら、練習、試合運営へと発展させることができる。 （2）グループの中での自分の役割を自覚でき、グループ活動に主体的に貢献することができる。 （3）活動中、自分や仲間の安全に留意して行動することができる。	
15			
総　授　業　時　間　数			30時間